

活用事例

- 1 二つの世界文化遺産（原爆ドームと宮島厳島神社）を結ぶエクスカージョン
- 2 多くの学生ボランティアを活用した国際交流
宮島訪問から対岸ホテルでのレセプションを含むエクスカージョン
- 3 テクニカルビジットとエクスカージョン
再生可能エネルギー電気の供給に取り組むゴミ処理施設（中工場）から宮島・厳島神社をめぐる
- 4 国の史跡に指定されている、広島歴史・文化の発信拠点である「広島城（護国神社前）」でウェルカムパーティー
- 5 平和都市・広島を今を実現し、未来へ
- 6 生徒・学生との交流を交え、平和都市広島の軌跡を辿り、宮島を巡るエクスカージョン

1 二つの世界文化遺産（原爆ドームと宮島厳島神社）を結ぶエクスカージョン

【イベント概要】

- 日 時 : 令和5年5月30日（火）
参加人数 : 300名
一人当たり費用 : 12,000円
プログラム : 世界遺産航路（高速艇）を利用
宮島・厳島神社・豊国神社・千畳閣・宮島水族館などを訪問
日本酒・クラフトビールテイस्टィングの体験



JMSアステールプラザで開催された国際会議での宮島・厳島神社へのエクスカージョンでは、往路に広島平和公園内発着の宮島までわずか45分の世界遺産航路（高速艇）を利用しました。世界遺産航路では、川と海の両方から広島の街並みを楽しむことが出来ました。



また、宮島島内では主催者側が準備した、厳島神社、宮島水族館、千畳閣を各参加者が自由に周回し、表参道商店街でのショッピングや飲食を楽しみました。



帰路はバスをチャーターし、JMSアステールプラザまで戻ったのち、夕食の提供と共に東広島西条の七つの酒蔵の日本酒のテイスティングを行いました。

2 多くの学生ボランティアを活用した国際交流 宮島訪問から対岸ホテルでのレセプションを含むエクスカージョン

[イベント概要]

日時 : 令和5年9月19日(火)

参加人数 : 150名

一人当たり費用: 20,000円

プログラム : 学生ボランティアの活用

宮島・厳島神社、紅葉谷公園、表参道商店街、豊国神社、千畳閣などを訪問
対岸ホテルでのレセプション

JMSアステールプラザで開催された国際会議エクスカージョンおよびレセプションプログラムとして、宮島を訪問後、対岸にあるホテルでのレセプションを開催しました。



通訳ガイドと多くの学生ボランティアの活用により、宮島・厳島神社訪問が国際交流の場となりました。学生ボランティアは事前に通訳ガイドによる英語トレーニングを受けて、このプログラムに参加しました。学生がこのような体験を通し、今後、国際交流の場に積極的に関わるきっかけとなりました。



宮島訪問後は、対岸に所在するホテルでのレセプションを開催し、アトラクションとして廿日市が発祥の地と言われるけん玉パフォーマンスを見学し、参加者もけん玉を体験しました。



レセプションの終盤には、このホテルから出帆している観光船に乗船し、厳島神社大鳥居付近からの眺めを堪能しました。広島市内から廿日市・宮島口までは貸し切りバスを利用し、往路のバスにはボランティアを含むガイドも同乗し、車中での自己紹介などを行うことで参加者との交流を深めました。

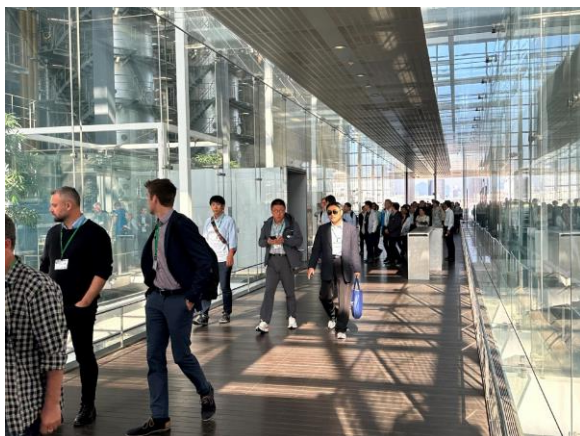
3 テクニカルビジットとエクスカーション

再生可能エネルギー電気の供給に取り組むゴミ処理施設（中工場）から宮島・厳島神社をめぐる

【イベント概要】

日 時 : 令和5年11月6日（月）
参加人数 : 350名
一人当たり費用 : 6,000円
プログラム : 広島市環境局中工場訪問
宮島・厳島神社、表参道商店街、大聖院など訪問

広島国際会議場で開催された国際会議のエクスカーション先として、ゴミ処理施設（広島市環境局中工場）と宮島・厳島神社を訪問しました。



また、広島国際会議場から出発直前に、ベジタリアン、ハラールに対応するランチボックスを配付し、参加者の食の多様化にも対応しました。

中工場への移動バスの中は、通訳ガイドから本工場の建設の歴史や目的、SDGsを重視した再生可能エネルギー電気を供給する最新技術について説明がありました。

学会のテーマにも重複した部分があり参加者は興味深く施設内を見学しました。



その後、貸し切りバスで廿日市・宮島口まで移動し、フェリーに乗船、宮島に渡り厳島神社の歴史や景観を楽しみました。プロの通訳ガイドが同行することで、施設の歴史や文化の価値について参加者は理解を深めることとなり、通訳ガイドは多くの質問に答えていました。

4 国の史跡に指定されている、広島歴史・文化の発信拠点である「広島城（護国神社前）」でウェルカムパーティー

【イベント概要】

- 日 時 : 令和5年11月10日（金）
- 参加人数 : 300名
- 一人当たり費用 : 50,000円
- プログラム : 屋外でのウェルカムパーティー
（けん玉パフォーマンス、安芸ひろしま武将隊）
ホテルでのガラディナー（G7広島サミット提供メニュー、神楽など）
繁華街（流川）でのバー二次会体験



海外参加者にとって魅力的な「広島城（護国神社前）」で、屋外でのウェルカムパーティーを地元ベーカリーからのケータリングを利用するとともにサステナビリティにも配慮して実施しました。余興として、けん玉パフォーマンスや安芸ひろしま武将隊の演武が登場し、国際会議参加者を楽しませました。



パーティー終了後は、ホテルの宴会場へ移動し、2023 G7広島サミット開催時の歓迎レセプションで供された地産地消の食材・飲料を提供し、会食の合間に広島の伝統文化「神楽」を上演しました。会場で提供された地産地消メニューや広島県内酒蔵メーカーの日本酒は国内外参加者に好評でした。



その後、広島市内の夜の繁華街「流川」へ移動し、日本文化「Niji-kai（2次会）」を体験しました。

5 平和都市・広島の今を実現し、未来へ

【イベント概要】

日 時 : 令和5年11月26日(日)
参加人数 : 48名
一人当たり費用: 5,000円
プログラム : 広島大学霞キャンパスでの被爆体験記・朗読会
おりづるタワー

参加者は、広島大学霞キャンパスの凌雲棟で、国立広島原爆死没者追悼平和祈念館に登録している朗読ボランティアによる被爆体験記・朗読会に参加しました。朗読する祈念館の冊子には、7編の詩が載っており家族など身近な人について書かれています。

当日、アジアの参加者から「全員で詩を一段落づつ読もう」との提案があり一人づつ読むことになりました。

広島県内の高校生も参加し海外からの参加者と気持ちを1つにして詩を読んでおられました。



次に「おりづるタワー」にて近接する「原爆ドーム」を視界に入れつつ、復興した広島に思いを巡らしました。また、「おりづるタワー」で折り鶴を折り、タワー内にある「おりづるの壁」に自ら折った折鶴を投入することで、世界中から集まる平和への思い、祈りを積み重ねていきました。



6 生徒・学生との交流を交え、平和都市広島軌跡を辿り、宮島を巡るエクスカージョン

【イベント概要】

日 時 : 令和5年11月27日(月)
参加人数 : 50名
一人当たり費用 : 10,000円
プログラム : 広島市立本川小学校訪問、日本文化体験、
宮島観光

広島市立本川小学校を訪問し、小学生の案内で校内に既存する被爆建物でもある被爆資料館を見学しました。参加者は8つの班に分かれ、各班に通訳が同伴しました。小学生は、見知らぬ大人に囲まれても臆することなく元気に案内し、参加者はそのパワーをもらいつつ広島が原爆の被害から立ち上がった歴史に思いを馳せました。



その後、地域のおもてなし隊による折り鶴と茶道を体験しました。参加者は初めての体験を楽しみました。



午後からは、広島平和記念公園内にある世界遺産航路乗船場から高速艇で宮島を訪問しました。

